

【調査①】 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査案

<調査についてのお願い>

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、令和8年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、令和7年9月1日現在、府中市にお住まいの65歳以上の市民の皆さまの中から3,600名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお伺いするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「**個人情報の保護に関する法律**」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年10月 府中市

回答に当たってのお願い

1. **封筒のあて名ご本人**がご回答ください。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。何らかの理由でご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族や周りの方が代わりに記入してください。
2. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
3. 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数は、それぞれの設問の指示に従ってください。また、「3つまでに○」など、○の数が指定されている設問は、あなたの考えに近いものや優先したいものを選んでご回答ください。
4. の場合は回答内容等を記入してください。
5. 「その他」に○印をつけた場合は、[] 内に内容を具体的に記入してください。
6. **調査票の回答にかかる時間は、およそ30分です。**

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月4日（火）までに ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課地域包括ケア推進係

電話（042）335－4537（直通）

E-mail: kourei01@city.fuchu.tokyo.jp

あなた（あて名の方）についておたずねします

F 1 あなたの性別※をお答えください。

※性別については、戸籍上の区別とは別にご自身の主観によりご記入ください。（1つに○）

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。

※令和7年10月1日現在の年齢でお答えください。（1つに○）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 65～69歳 | 3. 75～79歳 | 5. 85～89歳 | 7. 95歳以上 |
| 2. 70～74歳 | 4. 80～84歳 | 6. 90～94歳 | |

F 3 あなたはどちらにお住まいですか。該当する福祉エリア1つに○をつけてください。

福祉エリア	町名
1. 中央	天神町（1・2丁目）、幸町、府中町、緑町、宮町、八幡町、日吉町、宮西町（1丁目）、寿町、晴見町（1・2丁目）
2. 白糸台	白糸台（車返団地除く）、小柳町（1・3丁目）、若松町（1・2丁目）、清水が丘（3丁目）
3. 西府	東芝町、本宿町、日新町、西府町
4. 武蔵台	武蔵台、北山町、西原町
5. 新町	浅間町、天神町（3・4丁目）、新町、晴見町（3・4丁目）、栄町
6. 住吉	南町、分梅町（2～5丁目）、住吉町
7. 是政	小柳町（2・4～6丁目）、清水が丘（1・2丁目）、是政
8. 紅葉丘	多磨町、朝日町、紅葉丘、若松町（3～5丁目）
9. 押立	押立町、車返団地
10. 四谷	四谷
11. 片町	矢崎町、本町、片町、宮西町（2～5丁目）、分梅町（1丁目）、日鋼町、美好町、

F 4 家族構成をお教えてください。（1つに○）

- | |
|----------------------|
| 1. 1人暮らし |
| 2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） |
| 3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） |
| 4. 息子・娘と同居 |
| 5. その他（具体的に： _____ ） |

就労状況についておたずねします

問1 現在収入のある仕事をしていますか。(1つに○)

1. している (→問1-1へ進む)
2. 仕事をしたいが、条件が合う仕事が見つからない (→問1-1へ進む)
3. 特に仕事をしたいとは思わないので、していない
4. その他(具体的に:)

問1で「1」又は「2」とお答えの方におたずねします

問1-1 あなたは、何歳頃まで収入を伴う仕事をしたいですか。(1つに○)

1. 70歳くらいまで
2. 75歳くらいまで
3. 80歳くらいまで
4. 働けるうちはいつまでも
5. その他(具体的に:)
6. 分からない

問1-2 働くうえで、次にあげることをどの程度重視しますか。(それぞれ1つに○)

項 目	とても重要	やや重要	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
①知識や経験がいかせること	1	2	3	4	5
②地域や社会に貢献できること	1	2	3	4	5
③新しい人と知り合いになれること	1	2	3	4	5
④健康が維持できること	1	2	3	4	5
⑤収入が得られること	1	2	3	4	5

あなたの生活状況についておたずねします

問2 現在、あなたが中心となって介護や介助、日常生活の世話等をしているご家族、親戚の方はいませんか。(1つに○)

1. いる (→問2-1へ進む)
2. いない

問2で「1」とお答えの方におたずねします

問2-1 どのような形で介護や介助、世話等をしていますか。(1つに○)

1. 一緒に暮らしながら介護や介助、世話をしている
2. 別世帯で暮らしているが、訪問して介護、介助、世話をしている
3. 施設に入居している
4. その他(具体的に:)

問3 あなたの介護保険における要支援認定の状況についてお答えください。(1つに○)

※令和7年10月1日現在の状況でお答えください。更新申請中などの理由で、結果が出ていない方は、分かっている状況でお答えください。

1. 認定なし(自立)
2. 介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者※
3. 要支援1
4. 要支援2
5. 分からない

※基本チェックリスト(25項目)の実施により、生活機能の低下のおそれがあると判定された方

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

1. 介護・介助は必要ない ~~(→問5へ進む)~~
2. 何らかの介護・介助は必要だが、理由があり、現在は受けていない
(理由:)
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)
(→問4-1へ進む)

問4で「3」とお答えの方におたずねします

問4-1 どなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも○)

- | | | |
|-------------|----------|-----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 4. 子の配偶者 | 7. 介護サービス |
| 2. 息子 | 5. 孫 | 8. その他 |
| 3. 娘 | 6. 兄弟・姉妹 | (具体的に:) |

問5 今後、医療や介護が必要になったら、どのように生活したいとお考えですか。

(**もっとも当てはまるもの** 1つに○)

1. 自宅で家族を中心に医療や介護を受けたい
2. 自宅で家族の介護と医療・介護保険サービスを組み合わせて生活したい
3. 自宅で家族に依存せずに医療や介護保険サービスの介護を受けたい
4. 自分や家族の状況に応じて介護施設等に短期間宿泊しながら、自宅で医療や介護を受けたい
5. 見守りや生活支援サービスなどのついた有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で介護を受けたい
6. 特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい
7. 医療機関に入院して医療や介護を受けたい
8. その他(具体的に:)
9. 分からない

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 3. ふつう | 5. 大変ゆとりがある |
| 2. やや苦しい | 4. ややゆとりがある | |

問7 あなたのお住まいは次のうちどれですか (名義は問いません)。(1つに○)

1. 持ち家の一戸建て
2. 持ち家の集合住宅
3. 民間賃貸住宅 (一戸建て)
4. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
5. 公的賃貸住宅 (都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど)
6. 高齢者向け住宅 (有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅)
7. その他 (具体的に:)

問8 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 住まいの段差や階段などの物理的な障壁 | 8. 立ち退きを求められている |
| 2. 買い物をする場所が近くにない | 9. 引越し先がない |
| 3. 家の周りに階段や坂が多い | 10. 近隣トラブル |
| 4. 家の周りの道に歩道がない、狭い | 11. その他 |
| 5. 鉄道やバスの利用が不便 | (具体的に:) |
| 6. 家族が近くにいない | 12. 特にない |
| 7. 住まいの利用にかかる費用 | |

問9 今後も府中市に住み続けたいと思っていますか？それともそうは思っていませんか。次の中から1つだけ選んでください。(1つに○) ※3計画共通

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. ずっと住むつもりが続けたい | 3. できれば市外に移りたい |
| 2. 当分は住むつもりしばらくは住み続けたい | 4. 市外に移りたい |

からだを動かすことについておたずねします

問10 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問11 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問12 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問13 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問14 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である | 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |
|-------------|------------|-------------|----------|

問15 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

- | | | | |
|--------------|--------|----------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 | 3. 週2～4回 | 4. 週5回以上 |
|--------------|--------|----------|----------|

問 16 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても減っている | 3. あまり減っていない |
| 2. 減っている | 4. 減っていない |

食べることについておたずねします

問 17 身長・体重をお教えてください。

身長

--	--	--

cm

体重

--	--	--

kg

問 18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。)(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 (→問 19-1 へ進む) |
| 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 (→問 19-1 へ進む) |
| 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし |

問 19 で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方におたずねします

問 19-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 20 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 毎日ある | 3. 月に何度かある | 5. ほとんどない |
| 2. 週に何度かある | 4. 年に何度かある | |

毎日の生活についておたずねします

問 21 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 22 バスや電車を使って 1 人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 23 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 24 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 25 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 26 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 25 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたに変化はありましたか。(いくつでも○)

1. 外出しなくなった 2. 人と会わなくなった
3. 人や物に触るのが怖くなった 4. 不安になることが多くなった
5. 介護や育児の負担が増えた 6. 人とのつながりの大切さを知ることができた
7. 健康に気を付けるようになった 8. 経済的に苦しくなった
9. その他 ()
10. 特にない

地域生活と日ごろの活動についておたずねします

問 27 あなたは、現在どの程度幸福だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれくらいになると思いますか。最も近いものをお選びください。
(1つに○)

とても
不幸

とても
幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問 28 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ1つに○)

項 目	以 上 に 4 回	回 週 2 〜 3	週 1 回	回 月 1 〜 3	年 に 数 回	い な い 参 加 し て
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループ やクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの 場(地域交流体操、その他自 主グループなど)	1	2	3	4	5	6
⑥シニアクラブ(老人クラ ブ)	1	2	3	4	5	6
⑦自治会・町会等	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 29 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
(1つに○)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 30 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 31 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。(3つまでに○)

- 自分の楽しみが得られる活動
- 興味ある知識や教養が得られる活動
- 自分の知識や経験をいかせる活動
- 生きがいや健康づくりができる活動
- 余暇時間を充実させる活動
- 仲間づくりや親しい友人ができる活動
- 隣近所の人と協力し合える活動
- 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動
- 地域や社会に役立つ活動
- 行政への協力や地域自治に関わる活動
- その他（具体的に： ）
- 特にない

問 32 市では各種生きがいづくり事業を行っています。あなたは、「敬老の日記念大会※」に参加したことはありますか。70歳以上の方のみお答えください。（1つに○）

※高齢者の長寿を祝うため、毎年、敬老の日に 70歳以上の市民を対象に式典やアトラクションを府中の森芸術劇場で行うものです。

1. 毎年参加している (→問 32-1へ進む)
2. 何度か参加したことがある (→問 32-1へ進む)
3. 1度だけ参加したことがある (→問 32-1へ進む)
4. 参加したことがない (→問 32-1へ進む)
5. 参加したことはないし、催し物があることを知らない

問 32 で「1」～「4」とお答えの方におたずねします

問 32-1 その理由を具体的にお書きください。

問 33 あなたは、「敬老の日記念大会」に今後も参加したいと思いますか。70 歳未満の方は、70 歳を迎えた場合を想定してお答えください。(1 つに○)

1. 参加したい 2. 参加するつもりはない

問 33-1 その理由を具体的にお書きください。

問32 ~~生きがいがありますか。(1つに○)~~ ※国：オプション項目

1. 生きがいあり ⇒ (具体的に: _____)
2. 思いつかない

問33 「生きがいづくり」に関して、市はどのような支援をすべきだと思いますか。
具体的にお書きください。

問 34 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1 つに○)

1. 週4回以上 3. 週1回 5. 年に数回
2. 週に2～3回 4. 月1～3回 6. ほとんどない

認知症についておたずねします

問 35 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1 つに○)

1. はい 2. いいえ

問 36 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

1. はい (→問 35-1 へ進む) 2. いいえ

問 36 で「1」とお答えの方におたずねします

問 36-1 あなたが知っている相談窓口はどれですか。(いくつでも○)

1. 地域包括支援センター
2. かかりつけ医
3. 認知症疾患医療センター
4. もの忘れ相談医
5. 若年性認知症総合支援センター
6. その他（具体的に： ）

問 37—あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。最も近いと思うものをお答えください。(1つに○)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる（第三者の介入なし）
2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける（第三者の介入あり）
3. 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
4. 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
5. 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう

問 37 あなたは認知症について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも○)

1. 認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること
2. 認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状があること
3. 認知症の症状には、妄想、幻覚、ひとり歩きなど個人差のある症状があること
- 4 3. 認知症の抑制予防には、食生活や生活習慣運動などで、改善の効果があると認められているものがあること
- 5 4. 認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること
- 6 5. 認知症は早期に発見することによりや診断後の適切な支援で、進行を遅らせることができるて穏やかに暮らせるようになること
- 7 6. どれも知らなかった

問 38 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が必要だと考えますか。(3つまでに○)

1. 認知症についての啓発活動の充実(地域の住民が認知症のことを正しく理解できるようにする活動)
 2. 認知症の相談窓口や相談体制の整備
 3. 地域による見守りや協力、認知症サポーターの養成など、地域の支援体制の充実
 4. 認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実
 5. 自宅で生活をしながら、認知症高齢者が本人にあった活動に参加できる「通いの場」や、必要に応じて「短期間の宿泊」ができるサービスの充実
 6. 認知症高齢者が本人にあった生活が送れる、家庭的な雰囲気施設の整備
 7. 家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備
 8. 認知症ケアに関する専門職の育成
 9. その他(具体的に：)
-
1. 認知症に関する正しい理解が普及されていること
 2. 認知症への偏見がなく、認知症を隠さず話ことができ、助け合う雰囲気があること
 3. 認知症に関する不安や困りごとに関する相談体制が充実していること
 4. 自分でできることは自分で行い、可能な限り住み慣れた地域で暮らせること
 5. その人に合った医療・福祉のサポートや連携の仕組みづくりがあること
 6. 認知症の人が社会での役割や生きがいをもって活動できる機会や場所があること
 7. 認知症の人の家族の交流会や相談会が充実していること
 8. 成年後見制度など認知症の人の権利を守る仕組みが浸透していること
 9. その他(具体的に：)

問 39 認知症の人の暮らし方はさまざまです。もし、あなたは認知症になったとしたら、どのように暮らしたいと思いますかですか。既に認知症の方は、今後どのように暮らしたいと思いますかですか。(もっとも当てはまるもの1つに○)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
3. 認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設などで身の回りのことなど必要なサポートを利用しながら受けながら暮らしていきたい
4. 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
5. 認知症になったら誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい
1. 家族や地域の人たちの支援を受けながら、暮らし慣れた地域で生活していきたい
2. 医療や介護サービスを受けながら、暮らし慣れた地域で生活していきたい
3. 介護施設（入所施設）などで必要な支援・介護を受けながら生活していきたい
4. その他（具体的に：_____）
5. わからない

問 40 府中市では、次のような認知症予防の啓発活動認知症とともに生きる地域づくりの活動を実施しています。あなたの参加状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

項 目	と 参 加 加 あ した る こ	こ が 知 と 参 は 加 な っ い て る た る	知 ら な い
①認知症サポーター「ささえ隊」養成講座	1	2	3
②認知症に関する講演会やシンポジウム	1	2	3

たすけあいについておたずねします

問 41 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 配偶者 | 5. 近隣（具体的に：_____） |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他（具体的に：_____） |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

問 42 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 配偶者 | 5. 近隣（具体的に：_____） |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他（具体的に：_____） |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

問 43 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 5. 近隣(具体的に:) |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他(具体的に:) |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

問 44 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 5. 近隣(具体的に:) |
| 2. 同居の子ども | 6. 友人 |
| 3. 別居の子ども | 7. その他(具体的に:) |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 8. そのような人はいない |

問 45 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか(1つに○) ※3計画共通

- | | |
|-------------------|--------|
| 1. はい(→問 45-1へ進む) | 2. いいえ |
|-------------------|--------|

問 45 で「1」とお答えの方におたずねします

問 45-1 差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○) ※3計画共通

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 自分・配偶者の健康・病気・介護 | 6. 子ども・孫の学業・仕事 |
| 2. 自分・配偶者の学業・仕事 | 7. 住まい |
| 3. 親の健康・病気・介護 | 8. お金(財産管理・相続含む) |
| 4. 兄弟姉妹の健康・病気・介護 | 9. 人間関係、人との付き合い方 |
| 5. 子ども・孫の健康・病気・介護 | 10. その他(具体的に:) |

問 46 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに○) 3計画共通

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 個人的なことを相談し合える人がいる |
| 2. さしさわりのないことなら、話せる人がいる |
| 3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる |
| 4. あいさつや会話は無いが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる |
| 5. 全く交流はなく、近隣に住む人を知らない |

問 46 あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど)(1つに○)

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1. とてもそう思う | 3. ややそう思う | 5. 全くそう思わない |
| 2. そう思う | 4. あまりそう思わない | |

問 47 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたが①手助けできること、①-1過去に手助けしたことは何ですか。また、あなたが高齢や病気などで日常生活が不自由になったときに隣近所の人に②手助けしてほしいことは何ですか。
(1)～(11)の項目のうち、①、②については3つまでに○、①-1についてはあてはまるものすべてに○をつけてください。

項 目	① 3つまでに ○ 手助け できること	①-1 あてはまる ものすべて に○ 過去に手助 けしたこと	② 3つまでに ○ 手助けして ほしいこと
(1) 日ごろの安否確認			
(2) 趣味など世間話の相手			
(3) 介護などの相談相手			
(4) 炊事、洗濯、掃除などの家事			
(5) ちょっとした買い物			
(6) 介護が必要な家族などの預かり			
(7) 外出の付添い			
(8) 災害時の手助け			
(9) ごみ出しなどの家庭支援			
(10) 電球交換などの簡単な作業			
(11) 特にない			

健康づくりや介護予防などについておたずねします

問 47 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

問 49 あなたは、現在どの程度幸福だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれくらいになると思いますか。最も近いものをお選びください。
(1つに○)

とても
不幸

とても
幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

問 48 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(1つに○)

1. はい 2. いいえ

問 53 府中市では、いつまでも元気で暮らせるための介護予防事業を行っています。下記の事業のうち、
 (1)「参加している・参加したことがある」のはどれですか。また(2)参加の有無に関わらず
 今後(これから)、参加したいものはありますか。(いくつでも○)

	(1) 参加している・ 参加したこと がある	(2) 今後(これから も)参加したい
1. フレイル※ ¹ 予防講習会(フレイル予防に関する講習・測定)		
— ふちゅう元気アップ体操(各地域での介護予防教室)		
2. 地域交流体操(各地域でのCD音源で行う体操の場)		
3. 介護予防推進センター※ ² での介護予防教室(3か月教室等)		
4. 介護予防講座(運動、栄養、脳トレーニング)		
5. 体力測定会(筋力・柔軟力・バランス力等の測定)		
— ほっとサロン(地域デイサービス)		

※¹ ところとからだの機能の低下により、要介護状態になる可能性が高い状態です。フレイルの状態から健康な状態に改善する(可逆性)ことができます。

問 53-1 へ進む

※² 介護予防を推進・普及し、その継続を支援することで高齢者の日常生活を支えることを目的とした施設です。

問 53 で介護予防事業に1つでも「参加したことがある」、又は「参加している」とお答えの方におたずねします

問 53-1 介護予防に取り組んだ結果、具体的な成果がありましたか。(いくつでも○)

1. 通院回数が減った	5. 他の人と交流でき、外出の回数が増えた
2. 服用している薬の量や種類が減った	6. 介護予防に積極的に取り組むようになった
3. 体力が向上した	7. 具体的な成果は感じなかった
4. 気持ちが前向きになり生活にはりがでた	8. その他(具体的に:)

問 54 府中市では心身の状態が低下した方を対象に、再び元気になって住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるようにするための短期集中予防サービスを実施しています。このサービスは専門職と面談しながら3か月間12回、通所(必要に応じて訪問1回)で実施するものです。あなたは心身状態が低下したら、このようなサービスを利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 利用したい	2. 利用したくない	3. わからない
----------	------------	----------

災害時の対応についておたずねします

問 55 地震等の災害が起こったときにあなたの手助けをしてくれる人はいますか。(いくつでも○)

- | | |
|----------|--------------------|
| 1. 同居の家族 | 5. その他（具体的に：_____） |
| 2. 別居の家族 | 6. いない |
| 3. 近所の人 | 7. 必要ない |
| 4. 友人・知人 | |

問 56 災害に備えてどのようなことをしていますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------------|--|
| 1. 日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流 | |
| 2. 住民同士で行う防災組織の活動の充実 | |
| 3. 地域での防災訓練への参加 | |
| 4. 市が作成した防災マニュアルや防災マップの確認 | |
| 5. その他（具体的に：_____） | |
| 6. 特にしていない | |

問 59 災害が発生したときに近所の手助けが必要な高齢者等に対してあなたができるのはどのようなことですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 災害発生時の安否確認 | |
| 2. 災害発生時の避難所への避難誘導 | |
| 3. 災害発生時の初期消火 | |
| 4. 災害発生時の救出・救助 | |
| 5. その他（具体的に：_____） | |
| 6. 特にできることはない | |

情報についておたずねします

問 57 あなたは、健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動、権利擁護等に関する情報をどこから（誰から）入手していますか。(いくつでも○)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 市の広報紙・ホームページ | 10. 民生委員・児童委員 |
| 2. 市の相談窓口 | 11. 家族や親族 |
| 3. 地域包括支援センター | 12. 友人・知人・近隣の人 |
| 4. 保健所・保健センター | 13. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ |
| 5. 社会福祉協議会 | 14. 講演会・講習会等 |
| 6. 介護予防推進センター | 15. インターネット、SNS |
| 7. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など | 16. その他（具体的に：_____） |
| 8. ホームヘルパー（訪問介護員） | 17. 特にない |
| 9. ケアマネジャー（介護支援専門員） | |

問 58 あなたは、暮らしの問題や福祉などについて困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも○）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 市の相談窓口 | 8. ケアマネジャー（介護支援専門員） |
| 2. 地域包括支援センター | 9. 民生委員・児童委員 |
| 3. 保健所・保健センター | 10. 家族や親族 |
| 4. 社会福祉協議会 | 11. 友人・知人・近隣の人 |
| 5. 権利擁護センターふちゅう | 12. その他（具体的に：_____） |
| 6. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など | 13. 相談できる人がいない |
| 7. ホームヘルパー（訪問介護員） | |

問 62 府中市には地域包括支援センターが11か所ありますが、次の地域包括支援センターの役割や機能をご存じでしたか。（いくつでも○）

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1. 高齢者の総合的な相談 | 2. 介護予防の支援や相談 |
| 3. 認知症に関する生活や財産管理の相談 | 4. 成年後見制度の相談 |
| 5. 高齢者虐待の早期発見や対応 | 6. 悪質な訪問販売・電話勧誘などの被害相談 |
| 7. 地域のネットワークを活用した高齢者の実態把握 | |
| 8. まったく知らなかった | |

問 63 あなたは、パソコンやスマートフォンなどの媒体を持っていますか。（いくつでも○）

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. パソコン | 2. スマートフォン |
| 3. タブレット | 4. ニつ折り携帯（ガラケー） |
| 5. その他（具体的に：_____） | |

問 64 問 63 で回答した媒体の用途は何ですか。（いくつでも○）

- | | | |
|--------------------|--------|---------|
| 1. 通話 | 2. メール | 3. 情報収集 |
| 4. その他（具体的に：_____） | | |

介護保険についておたずねします

問 59 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っていますが、これらのサービスを知っていますか。(サービスごとに1つずつ〇)

サービス名		サービスの内容	知っている	知らない
居宅サービス	①訪問介護	入浴、排泄、食事などの身体介護や調理、掃除などの生活援助	1	2
	②訪問看護	看護師等の訪問による療養上の世話や診療の補助	1	2
	③訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士等が居宅を訪問して行うリハビリテーション	1	2
	④訪問入浴介護	居宅を訪問し、浴槽を提供して行う入浴介護	1	2
	⑤居宅療養管理指導	医師や看護師、歯科医師、管理栄養士等が訪問して行う療養上の管理指導	1	2
	⑥通所介護（デイサービス）	通所介護施設等で食事、入浴など日常生活の支援や生活行為向上のための支援	1	2
	⑦通所リハビリテーション（デイケア）	老人保健施設や医療機関等で食事、入浴など日常生活の支援や生活行為向上のためのリハビリテーション	1	2
	⑧短期入所生活介護（ショートステイ）	特別養護老人ホーム等への短期間入所	1	2
	⑨短期入所療養介護（医療型ショートステイ）	老人保健施設等への短期間入所	1	2
	⑩特定施設入居者生活介護	介護付き有料老人ホーム等に入居し、食事、入浴、排泄等に関わる介護や機能訓練を受ける支援	1	2
	⑪福祉用具の貸与	車いす等の貸出し	1	2
	⑫特定福祉用具購入	入浴や排泄等に使用する福祉用具の販売	1	2
	⑬住宅改修費の支給	手すりやスロープなど、住宅の小規模な改修費の支給	1	2
施設サービス	①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	常時介護を必要とする方が入居し、食事、入浴、排泄等の日常生活上の支援や介護を受ける施設	1	2
	②介護老人保健施設（老人保健施設）	看護・介護・療養等の専門的なサービスや日常的なサービスを提供し、機能回復を目指す施設	1	2
	③ 介護療養型医療施設 介護医療院	長期療養を必要とする方に、医学的管理のもとにおける介護、必要な医療や日常の世話を提供する施設	1	2

サービス名		サービスの内容	知っている	知らない
地域密着型サービス	①夜間対応型訪問介護	夜間において、定期巡回の訪問介護、随時の訪問介護、通報によるオペレーションサービスを組み合わせて行うサービス	1	2
	②定期巡回・随時対応型訪問介護看護	日中・夜間を通じて、定期巡回と利用者からの通報により随時対応する訪問介護と訪問看護を組み合わせて行うサービス	1	2
	③小規模多機能型居宅介護	「通所」を中心として、要介護者の状態から、随時「訪問」や「泊り」を組み合わせ提供するサービス	1	2
	④看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護及び訪問看護を一体的に行うサービス	1	2
	⑤地域密着型通所介護	定員18人以下の小規模な通所介護	1	2
	⑥認知症対応型通所介護	認知症の居宅要介護者を対象とした通所介護サービス	1	2
	⑦認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域の中で中程度の認知症高齢者が少数の家庭的な環境の中で暮らす介護を提供するサービス	1	2
	⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	入居定員29人以下の小規模な特別養護老人ホーム	1	2

在宅療養サービスについておたずねします

問 60 在宅での療養が必要となった時に必要に応じ受けられるサービスがありますが、次のことを知っていますか。(1つずつに○)

サービス名	サービスの内容	知っている	知らない
①訪問診療	通院が困難な方の自宅などに計画的・定期的に医師が訪問し、診療する。	1	2
②往診	容体が急変した際など、不定期に患者の自宅などに医師が訪問し、診療する。	1	2
③訪問歯科診療	通院が困難な方の自宅などに歯科医師・歯科衛生士が訪問し、歯の治療や入れ歯の調整等を通じて食事を噛んで飲み込めるよう支援を行う。	1	2
④訪問薬剤管理	通院が困難な方の自宅などに薬剤師が訪問し、薬の飲み方や組み合わせ等の確認・管理。説明等を行う。	1	2
⑤訪問栄養食事指導	管理栄養士が自宅等に訪問し、病状や食事の状況、栄養状態や生活習慣に適した食事等の栄養管理の指導を行う。	1	2
⑥訪問によるリハビリテーション	通院が困難な方の自宅などに理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが訪問し、運動機能や日常生活に必要な動作を行えるように、訓練や家屋の適切な改造の指導等を行う。	1	2

問 61 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいと思いますか。(1つに○)

1. そう思う (→問 61-1へ進む) 2. そう思わない (→問 61-2へ進む) 3. 分からない

問 61 で「1. そう思う」とお答えの方におたずねします

問 61-1 ご自宅での療養は可能だと思いますか。(1つに○)

1. 可能だと思う 2. 難しいと思う (→問 60-2へ進む) 3. 分からない

問 61 で「2. そう思わない」又は問 60－1 で「2. 難しいと思う」とお答えの方におたずねします

問 61－2 それはなぜですか。(3 つまでに○)

1. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるか分からないから
2. 急に病状が変わったときの対応が不安だから
3. 往診・訪問診療してくれる医師がいないから
4. 訪問看護や介護の体制が不十分だから
5. 家族に負担をかけるから
6. 看護や介護してくれる家族がいないから
7. 療養できる部屋やトイレなど住宅環境が整っていないから
8. お金がかかるから
9. その他（具体的に：)
10. 特に理由はない

問 62 あなたは、人生の最期をどうすごしたいか、ご家族等※や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(1 つに○)

※ご家族等の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人(友人、知人)を含みます。

1. 詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している
2. 詳しく話し合っている
3. 一応話し合っている
4. 話し合ったことはない (→問 62－1 へ進む)
5. その他（具体的に：)

問 62 で「4. 話し合ったことはない」とお答えの方におたずねします

問 62－1 それはなぜですか。(もっとも当てはまるもの 1 つに○)

1. 話し合える相手がいないから
2. 話し合う必要がないから
3. 話し合う時間がないから
4. 縁起でもないことは考えたくないから
5. 自分の最期は家族等の判断に任せているから
6. その他（具体的に：)

■最後に、市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについて、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、11月4日（火）までに返送してください。